

会 議 録

会 議 名	平成30年度第4回米原市図書館協議会
開 催 日 時	平成31年3月2日（土）午前10時00分～午前11時45分
開 催 場 所	近江図書館 談話室
出席者および欠席者	出席者：大橋敏治委員、井上智子委員、高橋由紀委員、 山下秀一委員、寺村和美委員、大西美智子委員、 清水冬子委員、澤逸子委員、有川博延委員 欠席者：岩脇明美委員 事務局：山本教育長、上村部長、 今川館長、梶川主幹、押谷主事
議 題	報告事項 （１）米原市立図書館運営形態の見直しについて （２）図書館運営に関する状況報告について ・統計 ・年間事業報告 ・図書館の評価 ・選書 （３）利用者アンケート集計結果について （４）視察研修および県図書館協議会交流会について
結 論	・利用者満足度を上げる取組について考える。（例えば、職員対応、 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）） ・次年度の図書館協議会では、委員同士で意見交換をし、図書館に対して協議会としての提案ができるよう進めることを検討する。 ・次年度、視察研修に行く場合は、研修後の早い時期に協議会を開催するなど意見交換の場を持つことを検討する。 ・ビブリオバトルを開催する。 ・地域とつながるイベントや複合施設を生かした取組を考える。
	■会長あいさつ この頃かなり春めいてきましたね。新聞にもギフチョウが飛んだという記事が出ていました。チョウはサナギの中で一度ドロドロに溶けてから成体になるそうで、幼虫の時に体が一部欠けていたりしても完全な成体として生まれてくるそうです。人間も同じようにサナギになればどうなるでしょう。失ったものを取り戻して第二の人生をやり直せたら素晴らしいことですね。本日もよろしくお願いします。 ■教育長あいさつ 平成30年度第4回図書館協議会に御出席いただきましてありがと

	うございます。 本日は委員の皆様の、2年間の任期中最後の会議となります。2年間貴重な御意見を賜りましてありがとうございます。 12月議会では図書館運営に関する条例の改正を提案させていただきました、平成31年4月1日から図書館の運営形態を変えることができました。当協議会では前向きな議論をいただき、ありがとうございました。 先日、『A I vs. 教科書が読めない子どもたち』（新井紀子／著 東洋経済新報社）を読みました。教育の場にいる立場として、教科書が読めない子どもたちというのはとても衝撃的な内容でした。子どもたちには教科書をしっかり理解してもらえるよう努めたいと考えております。 A I が世の中を支配するような時代が来ようとしています、人間の力として、思考・判断・表現力というものが大切であることを呼びかけていけたらと考えております。 ■事務局 岩脇委員から御欠席の御連絡をいただいています。米原市立図書館条例施行規則第16条第2項の規定により、過半数の御出席を得て定足数に達しておりますので、本会は成立していることを申し添えます。 ■事務局 次第の報告以下の議事運営については、会長様でお進めいただきますようお願いいたします。 報告事項（１）米原市立図書館運営形態の見直しについて ■事務局 【資料】に基づき説明 ■会長 次の5月の10連休は、図書館は休館日無しになるのですね。運営形態の見直しについて御意見はありますでしょうか。無いようですので、次に進みます。 報告事項（２）図書館運営に関する状況報告について ・統計、年間事業報告、選書 ■事務局 【資料】に基づき説明
--	---

	・図書館の評価 ■事務局 第3回図書館協議会で、年報や利用者アンケート結果から平成29年度の図書館運営に関する内部評価をいただきました。 その内部評価をもとに、10月に米原市教育行政の点検・評価に関する懇話会で外部評価をいただきました。A～Eまでの5段階評価で「C」（期待どおり）の評価をいただきました。これに関して図書館は、今後も利用者アンケートを実施し、自ら評価しあうことで改善できることは改善し、より良いサービスに努めていきます。 ■会長 それでは利用者アンケートの統計、年間事業計画、図書館の選書につきまして御意見を伺います。 来年度の計画、図書館の評価など興味深いものがありました。 ■A委員 数字だけの評価ではなく満足度を上げていくということは、この協議会での議論の中でも出ていました。満足度を上げるためには具体的に何をすべきなのかを、この協議会で意見を出し合ってまとめていくべきです。 ■事務局 職員対応満足度に関しては、目標数値である80%の方に「良かった」という評価をいただいています。レファレンス満足度を上げ、また迅速に資料を提供するためにはどのような取組が必要であるかを考えております。 ■E委員 A委員の意見を受けて、宿題形式で意見を持ち寄るというのはとても良いと思いました。図書館協議会は、図書館側だけでなく様々な立場から意見を出しあえる場であるべきです。 ■B委員 カウンターでお客様が職員に気軽に要望などを伝えられるような雰囲気作りのために、職員から声かけすること等も必要であると思います。 また、図書館の環境は快適かというアンケートで、「あまり快適でない」「不快」と回答された方は具体的にどこを不快に思われたのかが気になります。 ■G委員 同じく図書館の環境についてですが、アンケートに「あまり快適で
--	--

	はない」「不快」と回答されたのは、エアコンが故障し冷風機だけが稼働していた昨年の夏に近江図書館に来館された方なのかなと思います。やはり図書館は環境が大切であり、「居心地のよさ」が求められると思いますので、もしもの時に備えて引き続き機器の定期点検に努めてください。 ■F委員 利用者みんなが満足するのは難しいでしょうが、小さなことからでも改善していくことでその活動が広がり、居心地のいい図書館に近づくのではないのでしょうか。 ■D委員 図書館で高校生をよく見るので、次年度の計画の中で言われたビブリオバトルを高校生、大学生向けにぜひ開催してほしいと思います。 また、選書の報告をいただきましたが、職員の方々にお聞きしたいのは、今の予算で満足しているかということです。 ■事務局 蔵書構成を考えていく中で、最新の情報を提供したいと思いますので、古いものを刷新して新しい資料を提供できる予算があるほどいいかなと思います。 ただ、これまでに構築してきた蔵書がありますので、テーマ特集や書架の配置など、蔵書を有効に活用できるような取組を考えていきます。 ■教育長 毎年度、図書館の図書費は厳しいです。予算増額のためには、利用者数・貸出冊数を増やす、皆で読書をしましょうという雰囲気を高めていくというような計画性が必要になります。 ■部長 図書費は年々減少傾向にあります。年度によってメリハリをつけないければ図書費は減少し続けてしまうので、戦略を持って予算の増額を検討していくべきです。 ■会長 滋賀県内の他の自治体も図書費は減ってきているのでしょうか。 ■事務局 はい。概ね同じような減少傾向にあります。 ■会長 利用者数や貸出冊数が増加している自治体の予算を参考に見てはどうでしょう。図書費の増額に比例して利用者数・貸出冊数が増
--	---

	加している等の傾向はないのでしょうか。 ■事務局 政策的に図書館の充実を打ち出している自治体は強いと思います。 今後、学校司書が配置されていく中では、学校司書が公立図書館と連携を取ることが必要になります。公立図書館では賄いきれない部分は、公立図書館を窓口として県立図書館から支援を受けることもできます。学校との連携は大切ですが、公共図書館には公共図書館の役割がありますので、学校図書館の支援にばかり力を入れることもできません。市全体として戦略的に連携を取りながら考えていきたいと思います。 ■B委員 米原市は、文化財を数多く保有している割には市全体として文化に対する関心が薄いように感じます。 ■副会長 これまでは薄かったかもしれないですが、少しずつ動き出しているイメージが私にはあります。 ■B委員 文化への関心の薄さは、自治会の中で一番強く感じます。 ■副会長 自治体の中でも、介護予防のための活動や、ふるさとを愛する子どもを育てるための学校地域コーディネーターという活動も進んでいます。 ■B委員 進んでいる自治会を自分の自治会と比べてしまうのでより感じてしまうのですね。 ■副会長 この協議会の在り方に会長が疑問を持たれていました。協議会がもっと自主的に、難しい政策に関しても積極的に意見を出し合って実現していけるような場であってほしいそうです。 ■会長 新しくなった守山市立図書館は、自習ができるので若い人がたくさん来館されていました。米原市も変えていかなければならないと考えています。他の自治体の視察はたいへん参考になります。 少しずつ意見を出し合って、1年間で提案書を作るなどの活動ができればよかったと思っています。図書館側だけではなく、図書館利用者として私たち自身が持っている意見の交流を協議会で計画的にし
--	--

	ていくべきでした。 ■B委員 図書館主催で開かれる映画会のような、地域とつながっていけるイベントをしてほしいです。現状では「図書館のイベント」として完結しており、図書館からの広がりや地域とのつながりが感じられません。お年寄りと子どもたちが交流できるイベントや、ビブリオバトルなどを図書館で行うのはどうでしょうか。 ■会長 ビブリオバトルはぜひやってほしいですね。 ■B委員 勉強や調べものをしに図書館に来ている高校生に呼び掛けてビブリオバトルへ参加してもらうのは少し難しいかもしれません。 ■会長 でも、本が好きな子はいますよ。たとえ100点のイベントにならなくても、開催することに意義があると思います。 ■A委員 自分で読んでおもしろかった本を紹介したいと思っている子はいるはずです。 ■B委員 木之本で、様々な場所に小さな本棚を置いて本を紹介するという活動を活発にされていると聞きました。米原にもあるそうですがあまり定着していないようです。 ■事務局 米原市では、市の協働提案事業で自分の本を町に出すことで、人材発掘につなげるための活動「My本箱プロジェクト」に取り組んでおられます。 ■副会長 おすすめポイントと本の紹介者を書いた紙が本棚に貼ってあります。醒井の喫茶店にもありました。カレーキャラバンを招致されたルッチまちづくりネットが提案し実行されている事業です。 ■C委員 先日、初めて山東デイサービスセンターに読み聞かせに行きました。山東デイサービスセンターはルッチプラザにあるので、図書館と同じ施設にあり、いい組み合わせだと思います。山東図書館を高齢者向け読書センターのモデル事業として展開する等、高齢者の介護や活性化に役立つ読書活動にも力を入れて行ってほしいです。
--	---

	■副会長 山東図書館では、朗読ボランティア「やまびこ」の皆さまが活動されています。平成30年度のまいばら協働事業でも高齢者を対象とする活動をされていたので、高齢者向けの事業はこれから広がっていくと思います。C委員のような熱心な方に参加していただいて、図書館のまいばら協働事業を深めていってもらいたいです。 報告事項（3）利用者アンケート集計結果について ■事務局 【資料】に基づき説明 ■D委員 借りたい本がありましたか？という質問に「なかった」と答えたのは何人ですか。 ■事務局 46件です。 ■D委員 職員に尋ねたり、予約・リクエストしたりしても欲しい本が見つからなかった方の人数も知りたいです。 もう一つ、職員対応に関する質問に「あまり良くなかった」と回答された方の理由は何ですか。 ■事務局 声の大きさや、職員によって対応が違うことです。 ■E委員 団体貸出についてですが、事情があって返却期限内の返却が難しい、期限を過ぎてしまったという際に「遅れても大丈夫」だけではなく「次回は返却期限を守ってください」と言っていただけるとありがたいです。 ■事務局 個人の方からの延滞連絡についてはコンピュータ上にメッセージを入れていましたが、団体に関してはその情報共有が十分ではありませんでした。お客様の状況について、全員が情報共有するよう努めます。 ■C委員 返却期限内に返せないという連絡は頻繁にあるのですか。 ■事務局 個人の方からは時々あります。
--	---

	■会長 電話での貸出期限の延長などはされているのでしょうか。 ■事務局 電話での延長は対応していません。ですが、入院等やむを得ない理由で返却が困難な場合はメッセージにその旨を記入し、督促の電話をしないようにしています。 報告事項（４）視察研修および県図書館協議会交流会について ■事務局 【資料】に基づき説明 ■会長 参加された方、意見や感想をお願いします。 ■Ｃ委員 いい研修でした。各図書館の良いところを積極的に取り入れていきたいです。 ■Ａ委員 永源寺図書館が規模は小さかったが特色があり、とても良かったです。米原市の図書館も各館で特色を出してほしいと思います。 ■Ｅ委員 永源寺図書館は、職員さんの対応も良かったです。米原市の司書さんは少し話しかけにくい雰囲気があります。永源寺図書館の職員の方も「利用者の方と話すことによって新たな発見がある」とおっしゃっていたので、気楽にしゃべりやすい雰囲気づくりに努めてほしいです。 ■Ｆ委員 永源寺図書館は明るかったので、狭さを感じさせない開放感がありました。絵本コーナーの飾り付けが工夫されていて、見習うべき点だと思いました。 ■副会長 視察研修の在り方について、全員で行くことで様々な視点からの発見があります。これからも続けてほしいと思います。 ■会長 図書館のコンセプトが変わってきているのではないかと感じました。一人ずつのスペースは狭くても滞在しやすい雰囲気があるというか、本を読むのに適した環境になってきていると思います。 米原市の図書館はまだそういうコンセプトではないような気がし
--	--

	ます。そうした図書館に変えていくための提案に時間をかけていきたいと思いました。 他の図書館を見るということはとても大切ですから、視察後すぐに話をする機会があるといいですね。 ■副会長 近江図書館の児童書架で見出しにかわいいイラストを入れる等の工夫をされていて、視察はそういった職員さんの頑張りに気がつける場になるのでいいと思います。 ■会長 予算がかからない範囲内でも、できることはたくさんあると思います。 ■副会長 県図書館協議会交流会に参加して、守山市立図書館で「本なおし隊」というチラシをいただきました。米原市では本の修理のボランティアについてどのように考えておられるのですか。 ■事務局 現在、近江図書館では修理ボランティア、山東図書館ではサポーターという形で様々な面で御協力いただいています。修理に関しては図書館側で講習会を開き、その後はボランティアの皆様に伝えてもらっています。しかし、多種多様なことでボランティアの皆さまにお世話になっているため、人数の確保も難しく、後継の方の減少や高齢化の問題もあります。図書館外でも活動されている方もいらっしゃいますし、あまりたくさんの方をお願いするのは難しいと考えています。 ■副会長 子どもの読書を絵本から読み物につなげていく活動を進めてほしいです。本をよく読んで育った子どもは成長してからも図書館を利用してくれると思います。長い目で見た場合、学校や図書館での絵本の読み聞かせは子どもの読書推進だけでなく、図書館利用者数の増加にもつながるのではないのでしょうか。 また、先日認定こども園の絵本の修理を依頼されました。他のこども園にも修理が必要な本はたくさんあるそうです。本の修理であれば時間の都合もつけやすく、ボランティアの方も取り組みやすいのではないかと思います。 学校図書館と公共図書館のつながりを深めていって、ボランティアをコーディネートする役割を図書館で担ってもらえるといいな、と思っています。
--	--

	■B 委員 閉架書庫で保管されている大型絵本を開架にも置いてくださるとありがたいです。 ■事務局 大型絵本は一般の方にも借りて頂けるものと、おはなし隊でボランティアさんが使われるものを分けていたため保管場所が違っていました。今年度からおはなし隊の本を開架に移す作業をしていますので、大型絵本も広く活用してもらえるようになる予定です。 ■A 委員 おはなし隊用と一般用で大型絵本を分けていた理由は何ですか。また、なぜ今年度になってそれらを統合したのでしょうか。 ■事務局 おはなし隊派遣事業は、市内の園などへ絵本をたくさん積んだ車で訪問して貸出をする事業で、ボランティアの方々にも御協力いただき、貸出するときに読み聞かせをしていただいていたいました。 大型絵本は、ボランティアの方々が活動しやすいよう、開架に置いている大型絵本と区別して確保をしていたのです。 現在、おはなし隊の活動が終了したため、おはなし隊派遣事業で購入した絵本を本来の所蔵館に戻すなどの整理をしています。整理を終えた本は一般の方やボランティアの方々にもご利用いただけます。 その他 ■事務局 インターネットサービスや予約リクエストに関するチラシを改めて作成しましたので御報告します。 未所蔵の本を多量にリクエストされると、購入した新刊を棚に取り置かざるを得なくなり、一人の方の独占状態になってしまうことがあります。ですから今回、公平性を保つためリクエストの冊数制限をはじめました。なおリクエストはその本の購入を確約するものではなく、相互貸借本として他館から取り寄せることもありますし、場合によってはお断りすることもあります。 ■会長 リクエストは各館 15 件までということですが、受け取り場所を変えたら 30 冊リクエストできるということですか。 ■事務局 はい。貸出冊数が 15 冊ずつですから各館 15 件に制限しました。
--	--

	本の予約については冊数制限を設けていません。 ■A委員 図書費が少なくなっている現状では、選書はもちろん、廃棄する本を学校に寄贈するなどして有効活用することも大事だと思います。選書会議はどのようなメンバーで行っているのですか。 ■事務局 選書会議は、館長や正規職員と各館のリーダーが出席しておこなっています。各館のリーダーはそれぞれの司書の選書を取りまとめて持ち寄っています。 ■A委員 外部の人が参加されていることはないですね。 ■事務局 はい。 ■会長 選書会議で廃棄する本を決めるのですか ■事務局 廃棄本は蔵書構成を考えて決めます。情報が古くなったものや、破損・汚損がひどくて修理ができないもの、法律が変わって使用できないものなどを廃棄しています。学校に寄贈できそうな本は、図書館の本のリサイクルに出す前に学校側にお知らせしています。 ■A委員 書庫のスペースが広くなれば廃棄する本を減らすことができますか。 ■事務局 書庫に置いている本でも、あまりにも古いものは利用されません。その見極めも必要です。 ■D委員 リクエストと選書は重なるものですか。 ■事務局 リクエストは様々ですが、小説の新刊は重なることがあります。専門書などをリクエストされた場合は相互貸借で他館から取り寄せることもあります。 ■副会長 アンケートで、インターネットサービスの利用者数が減少していることが気になりました。 利用者アンケートの良くない意見を大切にすべきだと思います。会
--	---

議の場で、良くない評価を受けた理由や今後の解決策として検討していることなどを聞きたいです。

■事務局

インターネットについては以前からチラシはありましたが、十分ではありませんでした。今回リクエスト数の制限という変更もありましたので、改めてチラシを作り、御案内しています。ですが、利用者層によってはネット環境が十分でない方もいらっしゃるのでは難しいところではあります。

委員のみなさまの退任および再任について

■事務局

米原市の図書館協議会は委員 10 人以内をもって組織し、その任期は 2 年です。皆様に御就任頂いておりました任期はこの 3 月末日を持ちまして満了となります。公私ともに御多忙の中御協力いただきまして誠にありがとうございました。

今期を持ちまして退任される 5 人の委員の方々には御理解と御協力を賜りましてありがとうございました。皆さまから賜りました図書館運営に対する御尽力に対して改めて心よりお礼申し上げます。

立場が変わられましても、引き続き御指導いただきますようお願い申し上げます。お礼の言葉とさせていただきます。お世話になり、ありがとうございました。

■副会長

一般委員の時とあまりやることは変わりませんが、副会長という肩書をいただくと気持ちが引き締まり、先ほど話題に出した県図書館協議会交流会にも積極的に参加することができました。

交流会に参加すると各図書館の話が聞けてとても勉強になります。そこで見聞きした内容をこの協議会でもお話ししたいのですが、期間が開くと言いたいことも減ってしまい、また協議内容も決まっているのでそれが難しいことがあります。気軽に、自由な内容を話せる会があると嬉しいです。

■部長

この協議会に参加させていただいていつも思うのは、毎回、委員の皆様は活発に建設的な御意見をくださるということです。会長の会の進め方、フランクな雰囲気づくりと、委員の皆様の熱意によるものかと思います。

図書館条例の見直しにつきましては、条例改正が伴うので非常にエ

	ネルギーがいる手続きでした。教育委員会の承認を得て議会での提案、議決をもらうということで議会からの質疑にしっかり回答しなければなりません。この協議会の意見、利用者アンケートによる市民の声などを説明し、制限を加える方向の条例改正でしたが議決をいただくことができました。 来年度に向けて、御意見いただきましたビブリオバトルや、満足度を上げるための取組みについても検討していきたいです。ルッチプラザ、近江図書館・近江はにわ館ともに複合施設ですので、その利点を生かした取組を考えていくべきであると思います。 退任される委員の方々、お世話になりました。今後も、外からこの協議会を見て頂いて、アドバイス等頂けるとありがたいです。 再任される皆様につきましても、新たに取り組むべき課題も出てきますのでよろしくお願いします。 ■事務局 以上をもちまして第4回図書館協議会を閉会させていただきます。ありがとうございました。
--	--

会議の公開・非公開の別	■公開 傍聴者： 0人 ☐一部公開 ☐非公開 一部公開または非公開とした理由 (質問および発言者の委員名)
会議録の開示・非開示の別	☐開示 ■一部開示(根拠法令等：) ☐非開示(根拠法令等：)
全部記録の有無	会議の全部記録 ☐有 ■無 録音テープ記録 ☐有 ■無
担 当 課	教育部 米原市立近江図書館 (外線 52-5246)